

## 鴨川市指定管理者選定委員会 会議録

### ■開催日時・場所・出席者

日 時：令和7年11月7日（金） 午前9時から午前10時30分まで

場 所：鴨川市役所7階会議室

出席者：以下のとおり

#### 【出席者】

##### ○鴨川市指定管理者選定委員会委員

一般社団法人鴨川市観光協会 会長 久根崎達郎

株式会社千葉銀行鴨川支店 支店長 内藤泰隆

鴨川市商工会 経営指導員 田中晃

鴨川市 副市長 平川潔

鴨川市 建設経済部長 川崎正博

##### ○事務局職員

鴨川市建設経済部商工観光課 課長 矢代忠恭

課長補佐 刈込豊

観光振興係長 太田吉紀

観光振興係 高橋大河

##### ○申請者

一般社団法人鴨川市農林業体験交流協会 代表理事 田村政彦

理事 清水宏

店長兼事務局長 渡辺公康

### ■配布資料

- ・次第
- ・資料1
- ・資料2

### ■会議要旨

#### 1. 開会（午前9時）

委嘱状交付

会議の成立について報告

会議を非公開、会議録を公開する説明

委員及び市行政関係者の紹介

## 2. 会長及び副会長の選出

鴨川市附属機関設置条例第4条第1項の規定に基づき、委員の互選により会長に平川委員、副会長に久根崎委員を選出した。

会議録署名人に田中委員が指名された。

## 3. 審査

鴨川市附属機関設置条例第5条第1項の規定に基づき、平川会長を議長として議事を進行した。

事務局から資料1及び2に則して審査方法等について説明を行った。

### (1) 施設所管課による説明

事務局から募集要領及び仕様書の概要、申請者の概要について説明を行った。  
委員からの質問等はなし。

### (2) 申請者によるプレゼンテーション

申請資料に基づき、申請者から15分間事業計画等について説明を行った。

### (3) 質疑応答

平川議長：青空市場や3階展示室の条例改正があれば自主事業収入が増えるということだが、具体的にどういうことか。

申請者：主に青空市場と3階の展示室に関してだが、3階の展示室に関してはもう空調が機能していない。30年前の施設なので埋め込み式の空調となっており、新しく取り付けるかもしくは別の形での利用を検討している。そこは1日の利用料金が5,000円ほどかかるし、現在利用者がいない青空市場も含めてだが、例えば市場機能としてではなく車中泊の方からお金が取れるような施設を設けてもいいような改正をすると自主事業収入が増えると思っている。

平川議長：3階部分については、条例改正というよりも施設整備ということではいか。

申請者：その話がメインになってくると思うが、利用料金から考えて展示室としての使用が適切なのかどうかも踏まえてこれから考えていきたいと思っている。青空市場に関しては、1区画200円というのがあるのでそれを改正するか、もしくは車中泊の方からお金が取れるようなコインシャワー設備などを設けられればと思っている。

平川議長：用途の拡大とそれに伴う施設整備が必要だということで良いか。

申請者：そうである。

久根崎委員：レストランの売上げが下がっているが、それに対する今後の対応策等々は考えているか。

申請者：レストランに関しては、令和5年度が750万ほどの赤字、令和6年度で520万ほどまで縮まり、230万ほどの改善が見られた。原材料費の高騰が価格に転嫁していないため赤字額が増えた。レストラン単体ではプラスというのはなかなか難しい施設である。施設の形状は1階が厨房、2階がレストランとなっており、ダムウェーダーで料理が上がってくるので、ワンフロアであればある程度人が抑えられるが、普通の設備よりも人が1.5倍程度かかる。その中でも基本的には平日3人体制でやっているの、その部分で人件費を見直しながら価格転嫁をしている。赤字幅としては現段階で400万程度縮まっている。

久根崎委員：赤字黒字もちろんすごく大事なことだが、レストランの売上自体が伸び悩んでいるのではないかと感じているが、その点についてはどうか。

申請者：売上げは伸び悩んでいる部分もある。適正な価格がどれくらいかというのをアドバイスいただきながらやっている。近隣道の駅の価格も加味しながらやっている。例えば刺身の料理だと2,000円以上取りたいというところが正直ある。地元食材を使うということで若干価格の方が高くなる部分はあるが、なるべく工夫しながらやっていきたいと思っている。レストラン飲食に体験観光などをプラスしてやっていく方法が良いと思っている。経営に関しては基本的に商工会に協力を仰ぎながら運営している。

川崎委員：青空市場は当初から比較的漁業者の市場として機能するといったことがなかなか厳しかったということは聞いているが、実際に青空市場の使い方として車中泊等に変更しなければいけないような状況まで厳しいというのか教えていただきたい。

申請者：当時、太夫崎漁港の稼働率としては高く賑わっており、そこで市場的な活動をしていた。利用者もいなくなり、別の形での利用を考えていたが難しく、太夫崎漁港も釣り船が現在2隻と、市場を開くほどの水揚げ量はない。近隣の住民も高齢化もあり、野菜を育てている方がだんだん少なくなっている。農林業体験交流協会も会員数が現在約300名程で平均年齢は70歳以上となっている。今後、会員を含めての展開を検討をしているが、青空市場で何かを販売するといった考えには至っていない。青空市場の機能は機能でいいが、ある程度の自由度が持てれば良いと思っている。

内藤委員：鴨川市民が行きたくなるような何かしらの施策というのは考えているのか。

申請者：市民が常時行くのはスーパーが一番多い。全国的にはスーパー機能を持っている道の駅も存在するが、そこに関しては難しいと思う。現在、文化的要素を持たせる形で公民館活動の発表の場を設けたり、ウォーキングギャラリーなど外でのイベントを行っている。日々の買い物に焦点を当てると、対スーパーとの価格の競争になるので難しい。市民の方がどこかに行くときにお土産を買う場になるのが一番良いと思っている。「鴨川でお土産を買うならオー

シャンパーク」といったようなキャッチフレーズが一つ必要だと思っている。観光客には十分承知されていると思っている。市民の方に地元で道の駅があるということをもう少し我々の方で PR する必要があると思っているので努力をしていく。

田中委員：現在人手不足で新規雇用というのが難しい状況であると思うが、その中で既存の従業員の方にこれからもオーシャンパークで働いてもらうための、福利厚生や何か特別な指導等があるか。

申請者：従業員はみんなみの里を含め全員で 21 人いる。一昨年までは正職員は 3 名のみであった。その中で 8 時間勤務の職員に関しては希望制で月給制にしている。この 10 月から 2 名の職員を時給から月給制にした。70 歳定年となっているが平均年齢は約 48 歳となっており、比較的他の施設よりも若いと思っている。福利厚生に関しても旧団体（令和 4 年度以前）の際は退職金はなかった。一般社団法人に変更した際、退職金共済に加入したため、現在退職金は出る仕組みになった。年間休日は月 9 日制となっており、年間で 118 日ある。

久根崎委員：道の駅は観光客が地場産品を買いに行くところである。買い物と言ったらオーシャンパークとなるように物販に力を入れてほしい。

申請者：了承した。

#### （４）審査

まず、審査表の上表に基づき、選定基準「事業計画書に基づく公の施設の管理が市民の平等な利用を確保することができるものであるか」について審査した。

審査員の総意により、申請者が選定基準を満たしていると審査した。

続いて、審査表の下表の選定基準の内容について、審査した。

会長から審査結果（集計結果）の発表を行った。

一般社団法人鴨川市農林業体験交流協会 評価点：74点

選定委員会が定めた評価点の基準（60点）を上回ったため、一般社団法人鴨川市農林業体験交流協会を指定管理者の候補者として選定した。

#### 4. その他

事務局から今後のスケジュールについて説明を行った。

委員からの質問等はなし。

会長が議長の職から降り、進行を事務局へ戻した。

#### 5. 閉会（午前10時30分）

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により会議録の内容について確認します。

令和7年11月27日

会議録署名人 田中 晃